

現代日本論講読 / 比較現代日本論講読 I 「現代日本論論文講読」(2013 年度 第 2 学期)

授業まとめ (1/21)

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 論文のさがしかた

- データベースの検索
- 論文 (雑誌冊子体・電子ジャーナル) の入手
- 論文・雑誌の性質の判定方法

2 論文の読み方

- 4 種類の読み方
- 自分のくわしくない分野の論文、外国語の論文を読んで、概略をつかむ
- 100 % の理解でなくてよい。ただし、重要な部分をきちんと押さえること

3 プレゼンテーション

- 最初に全体構成や結論をみせるほうがよい (配布資料にはなくてもよい)

準備

- 練習は非常に重要。ほとんど無意識に話す内容が出てくるまで。
- 必要があれば、完全な原稿を用意する (特に、母語でない場合)
- 時間のチェックポイントを考えておく (原稿にメモ)
- ジェスチャーやポインタの使い方まで考えておく

スライド

- 話す内容のすべてに対応させたスライドを用意する
- 文章はすくなく
- 一目でわかる図をかくのがよい
- 英語の字体 (Arial など)

話し方

- ゆっくり、はっきりと
- 自分のくせを把握しておくこと
- 強調の方法
- 顔と視線の方向は非常に重要。できる限り聴衆のほうを向いて話すように工夫する。

4 質疑応答

- 積極的に発言すること
- 質問することを考えて内容を読む

5 司会

- 全体に目を配って、公平に運営する
- 大きな声で、自信をもって進めること

2巡目プレゼンテーションの反省は、コメントを加えて返却します。まだの人は提出すること。